

地域産業クラスターの活性化を目指した知財戦略構築に向けた実践的研究

浜松医科大学 産学連携・知財活用推進センター
講師 天野裕子

研究の概要と成果

【研究の概要】

中小ものづくり企業が持つ知的財産資源やその付加価値を最大限に活用する能力・プロセスを高めるため、知財情報を利用した新規事業展開領域の探索・提案を行う。本研究成果により、中小ものづくり企業と大手企業やアカデミアとの共同研究・製品化へと発展する可能性があり、地域をあげての力強い経済・産業の実現を目指す。

【成果】（目標達成度）

セミナー（9/21特許情報をマーケティングツールに使用する、63名参加）、ワークショップ（10/11実例から特許エリアマップを試作する、19名参加）を開催した。医療機器分野への参入を望む企業のうちまず1社を訪問し、技術・設備紹介を受け、開発・営業担当者や執行部へのヒアリングにより自社の強みを引き出し、ワークショップのテーマを決定した。3/28ワークショップ開催予定（10名程度参加予定）。コロナ感染症流行拡大のためセミナー・ワークショップの開催、企業訪問の延期が続いた。目標達成度は75%程度。





写真 ワークショップ(実例からパテントエリアマップを試作する)開催の様子および作成したパテントエリアマップ